

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 岐阜県文化財アーカイブ事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 文化伝承課 伝統文化係 電話番号：058-272-1111 (内 3579)

E-mail: c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,042 千円 (前年度予算額：9,181 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,181	4,415	0	0	0	0	0	0	4,766
要求額	7,042	3,346	0	0	0	0	0	0	3,696
決定額	7,042	3,346	0	0	0	0	0	0	3,696

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

文化財の罹災(震災・水害等)への早急な対応に備え、県として文化財資料を完備するため、文化財資料等のデジタル・アーカイブ化を進める。

また、近年、仏像等の盗難が多発している仏像等のデータの収集、少子化・過疎化等で消えゆく恐れのある祭り行事等を映像で記録する。さらに『岐阜県文化財図録』の改訂、HPでの情報発信により、積極的に県民に提供する。

(2) 事業内容

○文化財調査 (令和元年度から2か年)

・写真データ、資料等の収集

○文化財データベース台帳の作成 (令和2年度から2か年)

・対象：国・県指定文化財

・文化財台帳の整理、デジタル化

○アーカイブ化の推進 (令和2年度から5か年)

・仏像等の調査 (対象：国・県指定)

・祭り・行事の記録映像等

○上記の成果等により県HP更新、岐阜県文化財図録(H9,10,11刊行、全3巻)の改訂 (令和4年度から3か年)

(3) 県負担・補助率の考え方

県単費

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	350	調査旅費
需用費(消耗品)	40	事務用品
役務費(通信運搬費)	10	
委託費	6,642	調査、彫刻(仏像等)・祭り行事アーカイブ化
合計	7,042	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

- ・岐阜県文化財保護条例施行規則

第12条 知事は、次に掲げる台帳を備えるものとする。

- 一 県重要文化財台帳(別記第二十五号様式)
- 二 県重要無形文化財台帳(別記第二十六号様式)
- 三 県重要有形民俗文化財台帳(別記第二十七号様式)
- 四 県重要無形民俗文化財台帳(別記第二十八号様式)
- 五 県記念物台帳(別記第二十九号様式)

- ・岐阜県文化振興指針(平成19年6月策定)における位置づけ

◎デジタル・アーカイブ構築の推進

過疎化の進展などにより消滅しつつある伝統文化や修復が困難な文化財をはじめ、県内にある伝統芸能、伝統文化などを誇りある文化として後世に残すため、動画や画像で保存し、ふるさと学習の教材として活用できるようデータの整備を推進します。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

文化財の罹災（震災・水害等）に対応するため、県として文化財台帳を完備する必要があり、令和元年度から3か年計画で文化財資料等のデジタル化・アーカイブ化を進める。

さらに『岐阜県文化財図録』の改訂、HPでの情報発信により、積極的に県民に提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
文化財資料等のデジタル化・アーカイブ化	0% (H30)	 (H29)	 (H30)	0% (R1)	100% (R7)	0%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

美濃（一部）・東濃・飛騨地区にある文化財資料等の収集を行った。

（前年度の成果）

・県内一部地区の文化財の現況確認を行うことで、文化財の現状の的確な把握することができた。また、仏像の3D計測を行うなど、デジタル化・アーカイブ化を進めることができた

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	わが県の宝である貴重な文化財の適切な保存・活用を図るため、文化財台帳等の文化財資料のデジタル化・アーカイブ化事業を適切かつ着実に推進していくことはきわめて重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	近年、仏像等の盗難が多発し、マスコミ等の関心も高い仏像の資料を収集し、盗難被害時の資料とすること、少子化・過疎化等で消えゆく恐れのある文化財に喫緊に対応するため、祭り行事等を映像で記録し、後世における祭り行事等の再現のための資料とすることは極めて有効な事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	文化財台帳等の文化財資料のデジタル化・アーカイブ化、仏像のデータベース化、祭り行事等の映像記録は、その成果を『岐阜県文化財図録』の改訂、HPでの情報発信により、積極的に県民に提供することができる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 調査する祭り行事やその計画、防災や防犯の視点を入れた県民への文化財に関する情報発信を検討する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 文化財をめぐる盗難の増加、少子化・過疎化による後継者不足の中で、県として文化財の基礎的なデータを完備し、調査を継続していく必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	